

6/20

2026

【土】

カルテット・インテグラ
～ベートーヴェン・ツィクルスⅡ（全6回）

14:00開演

昨年、初回のベートーヴェン・ツィクルスを終えて率直に感じたことは、1人の作曲家のみを取り上げることの難しさです。ベートーヴェンの音楽は目まぐるしく変化していく中で、常にその1つ1つが作品全体の構造に大きく関わっていくので、演奏していて気の休まる瞬間はありません。また、世の中でこれだけベートーヴェンの弦楽四重奏曲が演奏されている中で、今自分達が演奏することにどんな意味があるのか、考えさせられました。

当時、ベートーヴェンがラズモフスキーの弦楽四重奏曲を作曲して、とあるヴァイオリニストに譜面を見せたとき、そのあまりの難解さに、一体これは音楽と言えるのか、とベートーヴェンに質問したそうです。彼の答えは、これはあなたのためではなく、未来のための音楽なんだ、とのこと。

ベートーヴェンの言う未来というのは、今よりもっと先のことのような気がします。それでも私達は彼が見据えた未来の一瞬の通過点として、彼の音楽に向き合う責任があるのかもしれません。

その今をお客様と共有できることを楽しみにしております。是非お越しください。

カルテット・インテグラ



©Rintaro Kanemoto

三澤 響果 (ヴァイオリン)
Misawa Kyoka, violin

菊野 凜太郎 (ヴァイオリン)
Kikuno Rintaro, violin

山本 一輝 (ヴィオラ)
Yamamoto Itsuki, viola

パク・イエウン (チェロ)
Park Ye Un, cello

ARDミュンヘン国際音楽コンクール、ウィグモアホール国際弦楽四重奏コンクール、バルトーク国際コンクールなど、主要国際コンクールでの受賞を重ねる。2015年に桐朋学園高等学校音楽科で結成。ロサンゼルスのコルバーン・スクールを経て、現在ハノーファー音楽演劇大学およびフランスのProQuartetにて研鑽を積んでいる。

ベートーヴェン：
L. v. Beethoven:

弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 Op.18-2
String Quartet No. 2 in G major, Op. 18, No. 2

弦楽四重奏曲 第6番 変ロ長調 Op.18-6
String Quartet No. 6 in B flat major, Op. 18, No. 6

弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 Op.132
String Quartet No. 15 in A minor, Op. 132

Quartet Integra

ベートーヴェン・ツィクルス今後の予定 (年1回開催予定)

【Ⅲ】 第3番 Op.18-3 第4番 Op.18-4 第7番 Op.59-1「ラズモフスキー第1番」	【Ⅳ】 第5番 Op.18-5 第8番 Op.59-2「ラズモフスキー第2番」 第12番 Op.127
【Ⅴ】 弦楽四重奏曲 Hess 34 第9番 Op.59-3「ラズモフスキー第3番」 第14番 Op.131	【Ⅵ】 第11番 Op.95「セリオーン」 第13番 Op.130 大フーガ Op.133

カルテット・ウィークエンド 2026-2027 ■5公演セット券 一般¥21,500 シニア¥20,500 〈2026年2月17日(火)10:00より発売〉
【ご予約・お問い合わせ】
トリトンアーツ・チケットデスク TEL:03-3532-5702(平日11:00～17:00) * 発売初日のみ10:00～受付開始 <https://triton-arts.net>

公演日	タイトル	演奏プログラム	単独券料金			単独券 発売日
			一般	シニア (60歳以上)	U25 (25歳以下)	
5月10日(日) 14:00	レオンコロ弦楽四重奏団	ヘンリエッテ・ボスマンス:弦楽四重奏曲 メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13 シューベルト:弦楽四重奏曲 第14番 二短調 D810「死と乙女」	¥5,000	¥4,500	¥1,500	2月17日 (火)
6月20日(土) 14:00	カルテット・インテグラ ベートーヴェン・ツィクルスⅡ	ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 Op.18-2 弦楽四重奏曲 第6番 変ロ長調 Op.18-6 弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 Op.132	¥5,000	¥4,500	¥1,500	
6月28日(日) 14:00	Opus13 (オーパス・サーティーン)	メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13 ブリッタ・ビューストレム:浮遊する世界からの印象 グリーグ:弦楽四重奏曲 第1番 短調 Op.27	¥5,000	¥4,500	¥1,500	
2027年 3月6日(土) 14:00	カルテット・エクセルシオ × カルテット・ルーチェ	日本を代表するカルテット「エクセルシオ」と次世代カルテットとの共演。 それぞれによる弦楽四重奏曲と、八重奏で共演。 メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲 変ホ長調 Op.20 他	¥4,000	¥3,500	¥1,500	9月 発売予定
2027年 3月14日(日) 14:00	ウェールズ弦楽四重奏団 ～ウェールズ・アカデミー ガラ・コンサート	ウェールズ弦楽四重奏団とウェールズ・アカデミー第5期生の演奏をお楽しみください。アカデミー生はオーディションで選ばれた精鋭たち。約1年にわたるレッスンの集大成となるガラ・コンサートです。曲目は決定次第発表	¥4,000	¥3,500	¥1,500	

カルテットウィークエンド
2026-2027

String
Quartets
on Weekends

25th
ANNIVERSARY
第一生命ホール
25周年記念

世界に羽ばたく3つのカルテットが第一生命ホールに集う！

5/10
2026
【日】
14:00開演

レオンコロ
弦楽四重奏団

2024年衝撃の日本デビュー以来、
待望の再来日！



©Co Merz

ヘンリエッテ・ボスマンス：
弦楽四重奏曲
メンデルスゾーン：
弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13
シューベルト：
弦楽四重奏曲 第14番 二短調 D810
「死と乙女」

6/20
2026
【土】
14:00開演

カルテット・
インテグラ

ベートーヴェン・ツィクルスⅡ
(全6回)



©Rintaro Kanemoto

ベートーヴェン：
弦楽四重奏曲 第2番 ト長調
Op.18-2
弦楽四重奏曲 第6番 変ロ長調
Op.18-6
弦楽四重奏曲 第15番 イ短調
Op.132

6/28
2026
【日】
14:00開演

Opus13
(オーパス・サーティーン)

ボルドー国際弦楽四重奏コンクール
2025 優勝記念ツアー



©Evita Glante

メンデルスゾーン：
弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13
ブリッタ・ビューストレム：
浮遊する世界からの印象
グリーグ：
弦楽四重奏曲 第1番 短調 Op.27

単独券 一般¥5,000 シニア¥4,500(60歳以上) U25¥1,500(25歳以下)
5公演セット券 一般¥21,500 シニア¥20,500 *詳細は裏面をご覧ください。

2026年 2月17日(火) 10:00より発売

©トリトンアーツ・チケットデスク TEL:03-3532-5702(平日11:00～17:00) * 発売初日のみ10:00～受付開始
<https://triton-arts.net>

©チケットぴあ <https://t.pia.jp/>(単独券一般のみ取り扱い)

※全席指定、表示価格には消費税を含みます。※未就学児の入場はご遠慮いただいております。
※やむを得ず、演奏曲目、曲順、出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ご予約はこちらから▶



第一生命ホール
(晴海トリトンスクエア内)

主催: NPO TRITON ARTS NETWORK 第一生命ホール
協賛 NPO法人 トリトン アーツ ネットワーク

2024年衝撃の日本デビュー以来、待望の再来日！

ヨナタン・昌貴・シュヴァルツ (ヴァイオリン)
Jonathan Masaki Schwarz, violin
垣内 絵実梨 (ヴァイオリン)
Kakiuchi Emiri, violin
近衛 麻由 (ヴィオラ)
Konoe Mayu, viola
ルカス・実・シュヴァルツ (チェロ)
Lukas Minoru Schwarz, cello

2022年ロンドンのウィグモア・ホール国際弦楽四重奏コンクールにおいて優勝、9つの特別賞も獲得した。5月にはボルドー国際弦楽四重奏コンクールでも優勝。24/25シーズンにボルレッティ=ブイトーニ・トラスト賞を受賞したほか多数の賞を受賞。

アルテミス・カルテットのハイメ・ミュラーに室内楽を師事し、元アルバン・ベルク四重奏団のギンター・ビヒラーのもとでも研鑽を積んだ。またエッカルト・ルンゲ、グレゴール・ジークル、アルフレート・ブレンデルといった音楽家たちからも指導を受けた。

23年秋、ラヴェルとシューマンの第3番を収録したデビュー・アルバムをリリース、26年1月にベルク、シュルホフ、ヴェーベルンの作品を収めたアルバム《Out of Vienna》がリリースされる。



ヘンリエット・ボスマンス：弦楽四重奏曲
Henriëtte Bosmans: String Quartet

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13
F. Mendelssohn: String Quartet No. 2 in A minor, Op. 13

シューベルト：弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810「死と乙女」
F. Schubert: String Quartet No. 14 in D minor, D 810 "Death and the Maiden"

Leonkoro Quartet

🇫🇷 ボルドー国際弦楽四重奏コンクールとは？

ボルドー国際弦楽四重奏コンクールは、3年に1度フランスで開催される若手弦楽四重奏団の登竜門。プラジャーク、ハーゲンなどが優勝を飾ったエヴィアン・コンクールを継承し、第1回(1999年)優勝のベルチャをはじめ、エペーナ(2003年1位なし第2位)、シューマン(2013年優勝)、レオンコロ(2022年優勝)などを輩出しています。トリトン・アーツ・ネットワークは2016年からコンクールと提携して優勝団体を日本に招聘してきましたが、この度日本ツアーを行うのが、2025年の優勝団体Opus13(オーパス・サーティーン)です。



ボルドー国際弦楽四重奏コンクール2025優勝記念ツアー

団体名の由来となったメンデルスゾーンOp.13はじめ、北欧出身の彼らのアイデンティティを表すグリーグとビューストレム

園子・ミリアム・ヴェルデ (ヴァイオリン)
Sonoko Miriam Welde, violin
エドヴァルド・アールダル (ヴァイオリン)
Edvard Erdal, violin
アルビン・ウーシヤルヴィ (ヴィオラ)
Albin Uusijärvi, viola
ダニエル・トレル (チェロ)
Daniel Thorell, cello

2025年、ウィグモア・ホール国際弦楽四重奏コンクールで第1位と5つの特別賞を受賞、続くボルドー国際弦楽四重奏コンクールで第1位と特別賞の全てを受賞。スウェーデンとノルウェー出身の演奏家からなる弦楽四重奏団Opus13は、ヨーロッパでも最も注目されている若手アンサンブルのひとつであり、生命力あふれる演奏と豊かな色彩感で高い評価を得ている。2014年結成。2022年バンフ国際弦楽四重奏コンクールで第2位を受賞して国際的な注目を集め、翌年にはノルウェーの名誉あるエクイノール・クラシック音楽賞を受賞した。ピョルグ・ルイスとベリット・カルダス(共にヴェルターヴォ弦楽四重奏団)、ティム・フレデリクセンに師事。2025年よりハノーファーでクス・クアルテットのオリヴァー・ヴィレに師事。ノルウェーのオリンピック都市リレハンメルで毎年開催される室内楽フェスティバル「ヴァンテルシュピール・パ・リレハンメル」を創設し、芸術監督を務めている。



メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13
F. Mendelssohn: String Quartet No. 2 in A minor, Op. 13

ブリッタ・ビューストレム：浮遊する世界からの印象
Britta Byström: Images From the Floating World

グリーグ：弦楽四重奏曲 第1番 ト短調 Op.27
E. Grieg: String Quartet in G minor, Op. 27

Opus13

👑 2025年コンクールで圧勝の“Opus13(オーパス・サーティーン)”

Opus13は2025年ボルドー・コンクール直前にロンドンで開催された名門ウィグモアホール国際弦楽四重奏コンクールでも優勝しています。コロナ禍での延期によりウィグモアがボルドーと同じ年に開催されることになった2022年に、両コンクールで勝利を飾ったのが、前回招聘し日本の室内楽界に旋風を巻き起こしたレオンコロ弦楽四重奏団でした。その3年後、レオンコロ同様にウィグモア優勝をひさげボルドーに乗り込んだOpus13は当然注目の的でしたが、そんなプレッシャーもなんのその、その美しいハーモニー、弦楽四重奏としての一体感で予選から聴き手の心をつかみ続け、決勝はもはやコンクールではなくコンサートのようになり、聴衆賞などすべての賞を獲得し圧勝する結果となったのです。Opus13という名前は、彼らが最初に演奏した曲がメンデルスゾーン

の弦楽四重奏曲第2番Op.13だったため。名刺代わりの本作品の他、コンクールでも強い印象を残したグリーグの弦楽四重奏曲、スウェーデンの作曲家ビューストレムの作品は、ノルウェー、スウェーデン出身メンバー2名ずつからなる彼らの「アイデンティティ」を表すプログラム。ウィグモア、ボルドー優勝後にヨーロッパで快進撃を続ける先輩レオンコロ同様、今後の活躍は間違いなし！(なんと、レオンコロもメンデルスゾーンOp.13を演奏しますので聴き比べも一興かもしれません。)ちなみに第1ヴァイオリンの園子・ミリアム・ヴェルデはノルウェー人の父と日本人の母を持ち、14歳でベルゲン・ユースオーケストラのソリストとして日本で公演を行うなど日本にも縁のある演奏家。ユニークな名前とともに今世界から熱い視線を浴びるクアルテットの日本デビューをどうぞお楽しみに！